

私立高校受験票

WEB出願の人はすでに手元に受験票があると思います。一方、受験票を郵送で届ける学校もあります。手書きの願書の学校です。順次家に届くかと思いますが、届いたら次のことを確認しましょう。WEB出願の人も確認しておいてください。（別紙で注意事項が書かれたプリントを配布している学校もあります。）

- ①入試当日の集合時間・・・何時までに入室しないといけないのか
- ②持ち物・・・昼食が必要か、上履きその他必要なもの、
逆に持ってきてはいけないもの
- ③入試の時間割・・・当日の時間割、面接がその日にあるのか、翌日か
面接までの待ち時間が長く、自習道具や読書用の本を
持ってくるように勧める学校もある
- ④会場図や最寄りの駅からの地図・・・家からの所要時間も確認しておきましょう
- ⑤合格発表日とその方法・・・掲示、郵送、ホームページなど
- ⑥コロナ・インフルエンザの対応・・・連絡の方法、別の日の受験（1.5次など）
場合によっては入試要項で確認を！！

なお、受験票が直接自宅に届いた人は、万一紛失した時や当日忘れた時のために、受験番号を控えますので、担任の先生に受験番号を知らせてください。（自分でも生徒手帳に控えておきましょう。）

面接・作文・筆記試験

今週、私立・公立の面接練習が行われました。面接官を担当して下さった先生方からは、“頑張ってたよ” “良かったよ” と、概ね良い評価を受けている人が多かったです。これまで自分なりに答えを準備したり、クラスで練習をしてきた成果が出ていると思います。改善点を指摘されたところは修正をして（場合によってはもう一度模擬面接をして）、本番に臨んでください。

作文が検査項目として設定されている人は、すでに練習作文を書いて、担任の先生に見てもらえているでしょうか。ぶっつけ本番では、うまく書けないものです。また、練習してきていないことが、見透かされてしまいます。お題は、だいたいパターンが決まっていると思うので、傾向をもとに、必ず練習作文を書きましょう。2回、3回と書けば書くほどスムーズに書けるようになります。

ところで、何が“合格・不合格を決める大きな差”になると思っていますか。面接の受け答えでしょうか、作文の内容でしょうか。いいえ、そうではありません。面接や作文ではほとんど差がつかないことが多いです。なぜなら、受験生はみんな準備をしてくれているからです。みんなが面接練習で良い評価を受けたように、どの受験生も練習してくているのです。（逆に面接・作文も出来ていなかったら勝負になりません。）

では何が差を生むのか。そう、もちろん筆記試験です。当日のテストでいかに点数を取るかが大きな差となるのです。もう受かったような気にいる人はいませんか、何の根拠もないのに今のままで簡単に受かると思っている人はいませんか。“推薦入試だから大丈夫”なんて甘い考えはきっぱり捨ててください。

ここ最近のみんなを見ていると少し不安です。なかには本当に頑張っている人もいますが、まだまだの人も多いです。定期テストも終わり、5教科の授業では、1・2年の復習や入試対策の授業も多くなってくるかもしれません。そういった時間を大切に、また家庭での受験勉強も存分に頑張ってください。

その先に結果はついてくるのです。その先にしか結果はついてこないのです。肝に銘じて・・・。